

なおみの
さわやか
エッセー



むかしばなし

両親が離婚し、父と私たち姉妹の暮らしが始まってからは、妹の保育園の送り迎えや、食事の支度や家事は、私の仕事でした。今でも、あまりもので料理を作るのは得意です。結婚してからも経済的に厳しくて、外食はほとんどできず、給料が出ると、まずは米と味噌(祖母の教え)、そして乾物や缶詰などを多めに買い置きます。お金が無くなると、安い食材と缶詰のトマトソースやホワイトソースでグラタン風のものを作ったり(「中身は何かなミステリーグラン」と呼んでいました)、油揚げの中に生卵を落としたものを煮たり(これは「あぶ玉」)、食費を抑えながら、なんとか食卓を楽しいものにする工夫をしていました。

今は、食事の支度すらままならない日常ですが、味噌、柚子胡椒、豆板醤と焼き肉のたれ、ヤンニョム、ヨーグルトは全て自家製です。少しでも食費を浮かすための習慣は、「添加物を使わない調味料を使い」、「なるべく発酵食品を多く採る」習慣に目的を変えながら、生きています。



前進!

中小建設業のための 都の工事契約制度が改善



和泉都議はかねてより東京都の入札契約制度を中小企業の実態に寄り添った改善をするよう要求し、物価スライド制の改善など重要な成果を実現してきましたが、十月二十九日の財政委員会議でさらに改善がすすんだことが明らかになりました。それは都が発注する工事請負契約における前払い金制度についてです。工事における前払い金制度とは資材購入や労働者の確保等、工事の着工資金確保のための契約金額の一定割合を前払いするものです。和泉都議の質問によって都は契約金額の四割を支払う対象を契約金額九億円までとしていたこれまでのやり方を今年度から十八億円まで拡大したことを明らかにしました。

この改善は喜ばれるものです。ひきつづき資材の状況や中小企業の実態に寄り添った契約制度の改善を行うようも求めます」と述べました。この問題は去年、和泉事務所が行った葛飾区建築協会との懇談で出されていた問題で、要望が実現したことになりました。

朝鮮学校の補助金停止 「子どもの権利の問題」 学習会で和泉都議があいさつ



十月二四日、都内の朝鮮学校を支援する市民らでつくる会が朝鮮学校への補助金復活をもとめる「勉強会」を開き、野村武司東京経済大学教授から「東京都子ども基本条例」についてお話ししました。

この条例づくりにかかわった和泉都議も参加し「朝鮮学校の補助金問題は子どもたちの権利をどう考えるのか、という問題です。みなさんと一緒に解決するまで全力で頑張ります」とあいさつしました。

東京都は石原慎太郎知事(当時)が二〇一〇年に、それまで出されていた外国人学校運営費補助金の支給を朝鮮学校だけ差別して支給停止しました。いま「ぼくたちをなかまはずれにしないで」署名運動がとりくまれ、補助金復活を求める運動がひろがっています。

日本共産党都議会議

和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2024年12月11日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所 和泉なおみ事務所



都区政報告会

11月3日(日)

文化でつながる国際会議2024

11月1日(金)

財政委員会事務事業質疑

10月29日(火)

公営企業決算特別委員会質疑

10月28日(月)

朝鮮学校補助金問題都議会議学

10月24日(木)

公営企業決算特別委員会質疑

10月23日(水)

金町駅北口街頭宣伝 司会

10月20日(日)

亀有駅街頭宣伝

10月19日(土)

私学振興予算要望期成大会

10月15日(火)

都政報告会(新小岩北地区センター・青戸地区センター)

10月13日(日)

錦糸町駅北口街頭宣伝

10月11日(金)

解散総選挙緊急街頭宣伝 司会

都議会情報インタビュー

10月9日(水)

夜間定時制の存続を求める集会

10月4日(金)

和泉なおみの
幹事長日誌

